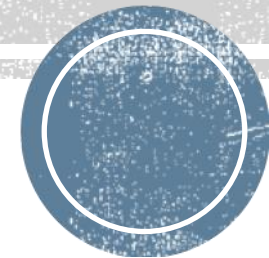


企業向け オンライン人財・組織開発支援



トオラス（自己組織化する株式会社）

パートナーコンサルタント：AKI（野口正明）



なぜ学びも創造もうまくいかないのか

ビジネス現場で生じる2つのタイプの問題

技術的問題
(*Technical problems*)

問題の解決は、過去の経験や専門知識によって技術的に対応が可能。

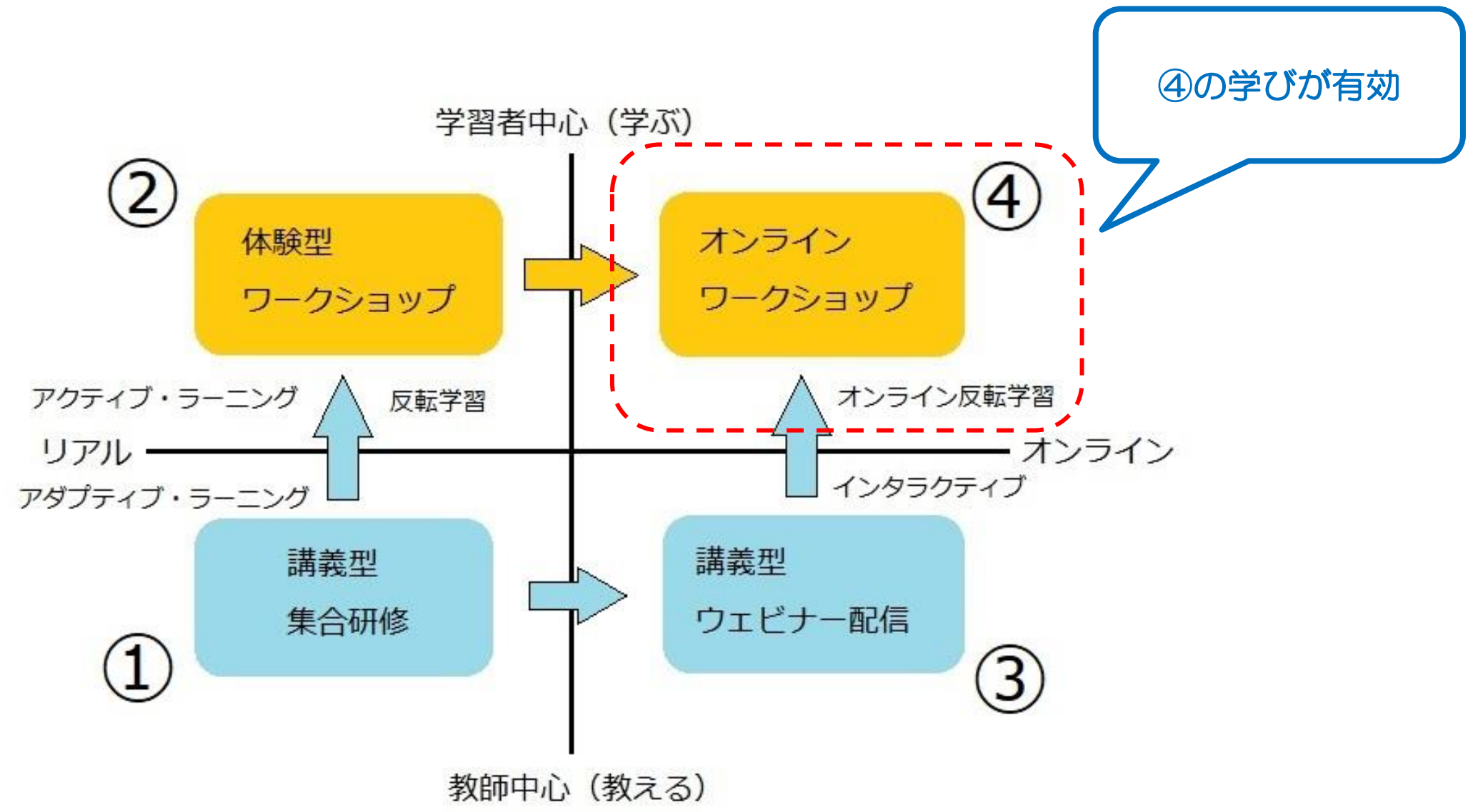
適応課題
(*Adaptive challenges*)

これまでの思考・行動パターンでは解決できないほど複雑な問題。自分自身が変わる必要がある。

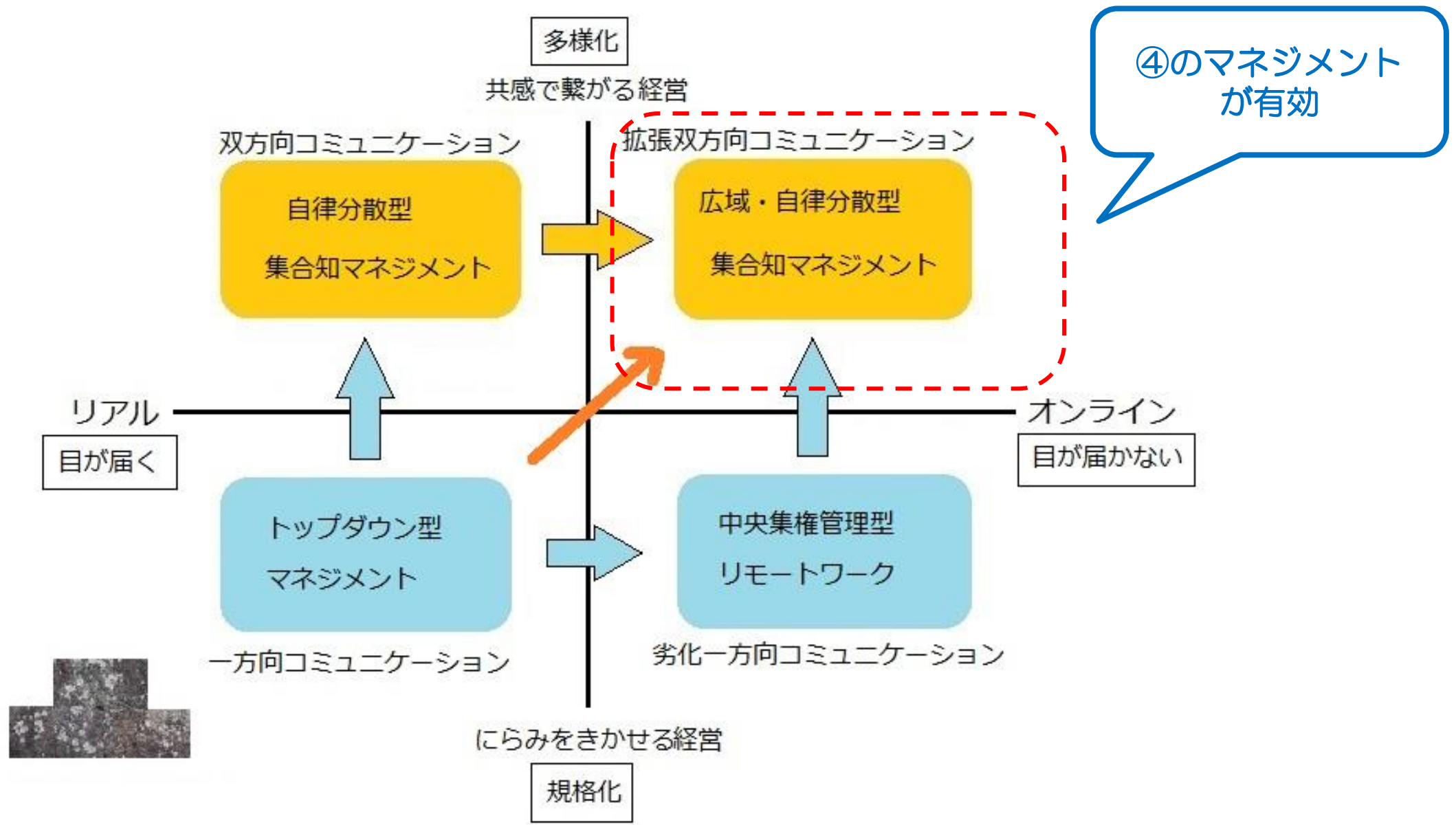
「適応課題」に踏み出す方法を持っていないから・・・

(Ronald A. Heifetz)

「適応課題」に踏み出すための学びは

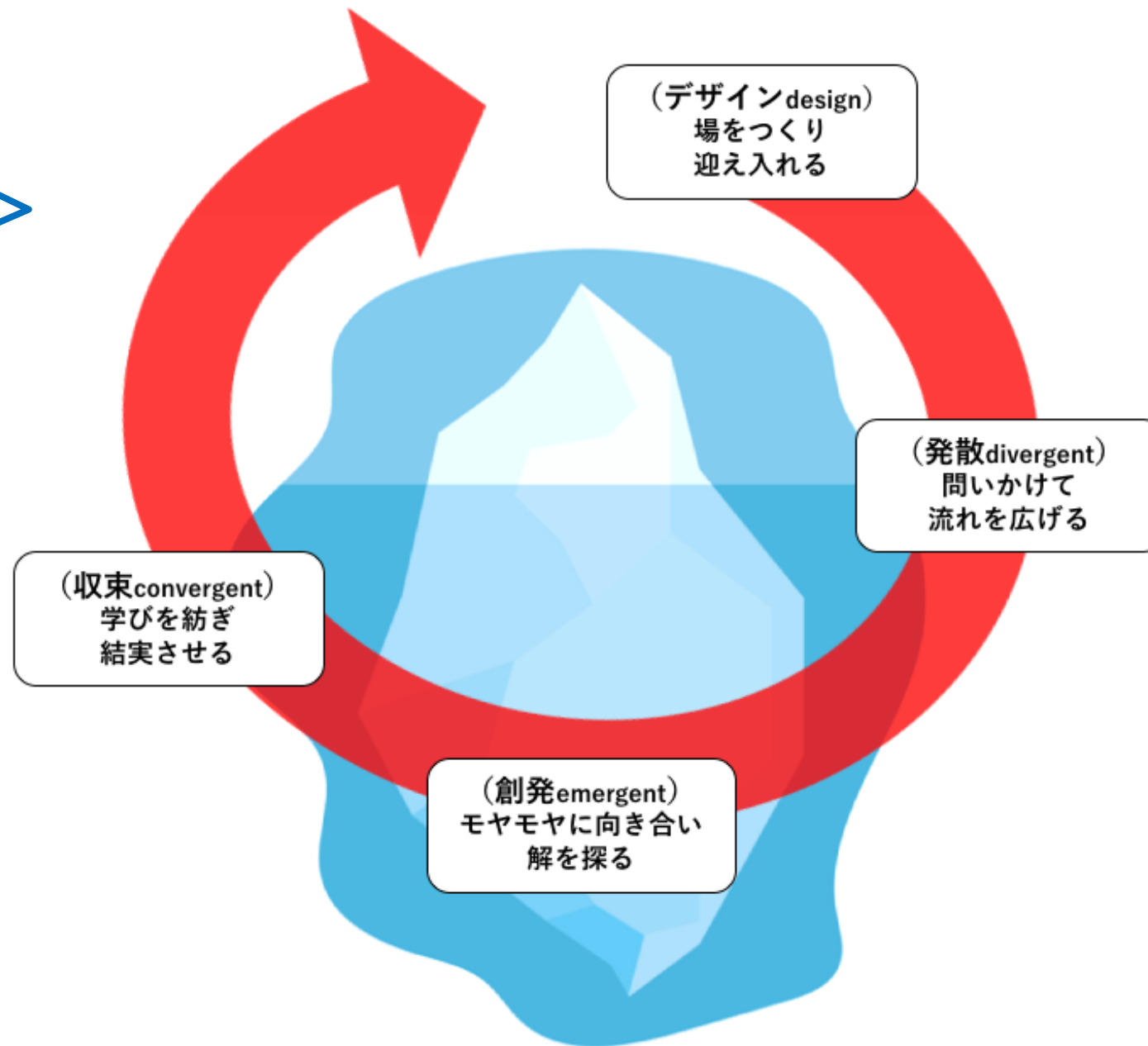


「適応課題」に踏み出すためのマネジメントは



<学びと創造を促進するサイクル>です！

PDCAを補う新たな
方法論が必要です



オンラインコミュニケーションテクノロジーを活用



越境性（時空間）



フラット性



メタ認知性

(1) 越境性：

離れた場所の人同士がオンラインで即つながるので、組織や企業間の壁も越えて参加しやすく、多様な価値観や考え方に触れられる。たとえ、その場に出れなくても、録画で文脈までキャッチアップできる。

(2) フラット性：

等分に括られた画面にフラットに存在している感覚になるため、上司・部下、本社・現場、年長・年下等のランクが生まれにくい。普段は口に出しにくい問題も取り上げやすくなる。

(3) メタ認知性：

画面の中に自分がいることで、自分を外において俯瞰的に世界を観ることができる感覚で、内省モードで話をしやすい。

オンライン人財・組織開発プログラム（例）

人財開発	組織開発
<ul style="list-style-type: none"> ➤ リアル研修のオンライン化 リ・デザインと運営サポート ➤ オンライン研修デザインのサ ポート ➤ オンライン研修の社内講師・ ファシリテーター育成 ➤ 社内人財開発担当者向けオン ライン研修企画・設計講座 ➤ サステナブルビジネスリーダ ー育成（ワーケーション） <p style="text-align: right;">等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ オンライン組織開発コンサル ティング ➤ オンライン組織開発社内ファ シリテーター育成 ➤ オンラインにてワールドカフ ェ、OST、AI、フューチャー セッション等のホールシルテ ムアプローチ実施 ➤ 自律分散型組織への変容サポ ート <p style="text-align: right;">等</p>

トオラスのご提供する価値

私たちは、デジタルファシリテーションを駆使して、個人・組織・社会における目に見えにくいニーズや課題を洞察し、それらが解決する支援をします。

	定義	トオラス
機能的便益	商品・サービスが持つ機能的な特徴、性質に関する便益 (便利・安い・早い・簡単・軽い・薄い・頑丈など)	オンラインカンファレンスや研修等のニーズに合わせ、ZOOMはじめデジタルテクノロジーの機能を最適化
情緒的便益	商品・サービスを通してユーザーが得ることのできる、感情に関する便益 (安心感・高級感・楽しさ・かっこよさ・スタイリッシュさ・充実感など)	各種のデジタルテクノロジーを組み合わせた最先端の学びと創造のワクワク体験
自己表現的便益	商品・サービスを手にすることで可能となる、自己表現・自己実現に関する便益 (自分らしくいられる、自分に価値が感じられる、ありがたい自分に近づけるなど)	一人ひとりが自分らしさを大事にできる多様性の尊重と、それが集合知としての創発につながることの統合

(David Allen Aaker)

学びと創造を促進するファシリテーターが求められる時代へ

	産業化社会	情報化社会
重要視される価値	機能的価値	情動的価値
達成を目指すもの	集団秩序	人間らしさ
教育目標	規格化	個性化
生活環境	閉鎖系	開放系
他者との関わり	同期	非同期
問題設定	単純化	複雑化
集団メンバー	均質	多様
現象の捉え方	因果的	縁起的
権力	中央集権化	脱中心化
処理	逐次処理	分散処理
管理	トップダウン制御	自己組織化
象徴する図形	ピラミッド	トーラス